

大学史研究通信

第23号、2000年11月30日(木)

大学史研究会

原稿募集

『大学史研究通信』第24号は2001年1月30日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿・お問い合わせ等は通信担当者の進藤までお願いいたします。連絡先は最終ページをご覧ください。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属(昇任も含む)に変更のある会員は「通信」担当者進藤までご一報くださるようお願いいたします。ご連絡は最終ページにごございます、進藤研究室宛にお願いいたします。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号まで希望者に頒布いたします。80円×部数+郵送料(1部の場合90円、2部以上は120円)分の切手を同封の上、編集担当進藤宛までご請求下さい。ご連絡は最終ページをご覧ください。

編集後記 『通信』第23号をお送りいたします。今回は大学史研究セミナー直後の編集となるため、ご報告できる内容がかぎられてしまいました。次号はセミナー報告を含め増ページしたものをお届けできればと考えております。(進藤記)

『通信』編集は事務局・進藤修一が担当しております。

連絡先〒562-8558 大阪外国語大学外国語学部 進藤修一研究室内

TEL/FAX 0727-30-5355 EMAIL sshindo@pop13.odn.ne.jp

『大学史研究通信』第23号は、11月30日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒192-0003 八王子市丹木町1-236 創価大学教育学部 坂本辰朗研究室内 大学史研究会

TEL 0426-91-4602 FAX 0426-91-9309 EMAIL sakamoto@s.soka.ac.jp

大学史研究会事務局員(五十音順)

阿曾 昭 明裕 (名古屋大学)
大川 一毅 (早稲田大学)
児玉 善仁 (帝京大学)
進藤 修一 (大阪外国語大学)
橋本 鉦市 (大学評価・学位授与機構)

飯野 靖夫 (日本鯨類研究所)
木戸 裕 (国立国会図書館)
坂本 辰朗 (創価大学)
塚原 修一 (国立教育研究所)

第23号の内容: 会員ニュース・新入会員自己紹介・大学史研究セミナープログラム報告・お知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

会員ニュース

谷本 宗生 会員(住所・所属変更)

所属: 金沢市史資料調査員

福石 賢一 会員(住所変更)

新入会員自己紹介

森岡ゆかり 会員

私は奈良女子大学大学院文学研究科を修了し、博士課程である人間文化研究科比較文化学専攻で学びました。単位取得満期退学後、中国唐代末期の詩人李商隱の女性形象についての研究で奈良女子大学博士(文学)を得ました。現在、同志社女子大学等で非常勤講師をしています。

博士取得後、文学と書道の融合研究をし、「故宫博物院蔵杜牧「張好好」詩本文小考」(『懷徳』67号、大阪大学懷徳堂記念会、1999年)、「『千載佳句』・『和漢朗詠集』所収許渾詩本文をめぐって」(『汲古』37号、汲古書院、2000年)などを発表しています。

文学と書道についての融合研究で優れた業績をあげた研究者に神田喜一郎博士がおられます。神田喜一郎博士は台北帝国大学で教鞭をとられていました。台北時代に多くの業績をあげられていたので、台北帝大に興味を抱き、調べてみると、中国文学研究で、優れた先学とされている久保天随・藤田豊八も台北で教鞭をとっていたことがわかりました。現在は台北帝国大学文政学部文学科東洋文学専攻に関心を持つに至っています。植民地時代の帝国大学研究は行なわれておりますが、中国文学研究の立場から東洋文学専攻についての研究、検証はまだ不十分ではないかと思います。先学たちの研究を帝国大学研究と関係付けて捉えなおす必要があるのではないかと考えています。

また、数年来、同志社女子大で教えているのですが、台北帝国大学最初の女子

(2000.11.25)

大学史研究会 総会 資料

於：志摩館大学、鹿児島空港ホテル

2000年度 会計報告

自1999.11.27 ～ 至2000.11.23

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	¥2,723,163	通信・印刷費	¥109,797
99 セミナー開催準備金償還	¥100,000	「大学史研究通信」編集・発送費	¥143,320
99 セミナー参加費余剰金	¥32,136	「大学史研究」編集・発送費	¥29,000
年会費・入会金	¥634,300	「大学史研究14号、15号」印刷費	¥262,237
「大学史研究」売上金	¥41,500	雑費（消耗品、送金手数料等）	¥3,512
利息	¥2,089	00 セミナー開催準備金	¥150,000
		次年度繰越金	¥2,835,322
計	¥3,533,188	計	¥3,533,188

上記資産（繰越金に含まれる）には以下の指定金銭信託金を含む

1994年1月13日 三井信託銀行へ¥500,000.の指定金銭信託（ヒット）契約（2000年9月26日現在残高 ¥516,863.）

1997年4月14日 三井信託銀行へ¥500,000.の指定金銭信託（ヒット）契約（2000年9月26日現在残高 ¥502,990.）

〔上記、金銭信託（現：中央三井信託銀行） 2000年9月26日現在総残高 ¥1,019,853.〕

★「大学史研究通信」「大学史研究」の『編集費』とは「印刷費、通信費、消耗品代、アルバイト謝金」を内容とする。

2001年度 予算案

自2000.11.24 ～ 至2001.総会開催前日（予定）

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	¥2,835,322	通信・印刷費	¥150,000
00セミナー準備金償還	¥150,000	「大学史研究通信」編集・発送費	¥180,000
年会費・入会金	¥650,000	「大学史研究 16号」編集・発送費	¥40,000
「大学史研究」売上金	¥40,000	「大学史研究 16号」印刷費	¥150,000
利息	¥2,000	謝金	¥50,000
		諸雑費（消耗品・送金手数料等）	¥10,000
		01 セミナー・例会開催準備金	¥150,000
		次年度繰越金	¥2,947,322
計	¥3,677,322	計	¥3,677,322

以上、報告・提案いたします。

大学史研究会 会計担当

大川 一毅



課題研究「地域と大学」(鹿児島空港ホテル・2F 松の間) 13:00~17:00

司会・コメンテータ 二見 剛史(志學館大学)

折田 悦郎(九州大学)

「地域と大学---九州帝国大学の場合」

安原 義仁(広島大学)

「オックスフォード大学大学拡張運動とブリストル・ユニヴァーシティ・カレッジの設立」

17:10 総会(鹿児島空港ホテル・2F 松の間)

18:00 懇親会(鹿児島空港ホテル・2F 桜の間)

第三日目[11月26日(日曜)]

自由発表II(鹿児島空港国内線ターミナルビル「エアポート3FホールC」)

司会: 別府 昭郎(明治大学)

コメンテータ: 進藤 修一(大阪外国語大学)

早島 瑛(関西学院大学)

「ドイツの大学(大学史)において卒業生(卒業試験合格者)を如何に特定するか」

田村 栄子(佐賀大学)

「ナチス時代の大学における女性と医学」

実行委員の二見剛史先生のご尽力により、2000年度大学史研究セミナーは盛会のうちに終了いたしました。大会当日の様態等については『大学史研究通信』第24号にて詳報する予定です。(進藤記)

大生が、同志社女学校の卒業生であることもわかり、ますます、台北帝大に興味をもっています。

ただ、従来わたしが専攻とし、研究してきたのは、中国古典文学、日中比較文学、文学と書写の関係についてであります。「大学」や「先生」についての研究方法など、非常に疎い状態です。また、そういう分野の方々とのご縁もあります。わたしのような門外漢のものを受け入れていただき、大変感謝しています。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

第23回大学史研究セミナープログラム

2000年11月24日（金）～11月26日（日）

会場：志學館大学

〒899-5194 鹿児島県隼人町内1904

鹿児島空港ホテル

〒899-6404 鹿児島県始良郡溝辺町麓616-1

主催：大学史研究会 大会実施委員：二見剛史（志學館大学）

第一日目[11月24日（金曜）]

自由研究発表Ⅰ（志學館大学、コスモス・ホール4301教室）15:00-18:00

司会： 仙波 克也（広島大学）

コメンテータ：中山 茂（神奈川大学）

福留 東土（広島大学大学院）

「アメリカの大学におけるビジネス・スクールの成立」

渡辺 かよ子（愛知淑徳大学）・楠元 町子（名古屋市立若水中学校講師）

坂東 江里子（Kプロジェクト書記）・矢島 洋子（金城学院大学大学院生）

柳沢 幾美（愛知学院大学大学院研究員）

「1904年セントルイス万国学術会議について」

19:00～ 前夜祭 バレル・バレ－PRAHA&GEN レストラン2F

第二日目[11月25日（土曜）]

特別講演（鹿児島空港ホテル・2F 松の間）9:30～12:00

司会・コメンテータ 二見 剛史（志學館大学）

講演： 平田 信芳 氏（七高史研究会事務局・郷土史家）

「戦後の七高生」

『大学史研究』第16号予定目次

<第22回大学史研究セミナー課題研究>

大学史と地方史 - 夢みる明治青年を求めて

鈴木秀幸

<原著論文>

ハイデルベルクの経済学教授クニース

八木 紀一郎

ディプローム・カオフマンになったバイエルンの人びと

早島 瑛

アメリカの大学におけるビジネス・スクールの誕生

- ペンシルバニア大学ウォートン・スクールの設立過程

福留 東土

<資料紹介>

国際シンポジウム「フンボルト・インターナショナル、19世紀・20世紀

におけるドイツ大学モデルの輸出」に参加して

宮坂 正英

戦後初期における日本の大学関連の資料について

高橋 正立

<書評>

瀧井一博「ドイツ国家学と明治国制－シュタイン国家学の軌跡」（ミネルヴァ書房、1999年

10月、350頁）

・シュタイン国家学誕生の軌跡

柴田 隆行

・シュタインとは誰か－思想史的位置づけのために

堅田 剛

・初期東大法学部史覚え書き－瀧井一博「ドイツ国家学と明治国制」

を契機として

長尾 龍一

伊藤敏雄「米国近代大学史研究－ミシガン大学を事例として」（風間書房、1999年2月、

501頁）

坂本 辰朗

会員による著作一覧

編集後記